

2017年3月15日

当院で弁膜症の治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名：大動脈弁置換術における心房細動に対する外科的アブレーションの有効性についての多施設共同後ろ向き研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、心房細動を合併した大動脈弁置換術における外科的アブレーションの効果を調査する目的で、心房細動を有し、大動脈弁の手術を受けられた患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。

この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

なお、この研究は、心臓血管研究所附属病院 國原 孝医師が主体となって実施しており、全国 50 施設が参加しています。

◆対象となる患者さん◆

2010年10月から、2014年12月までの間に、待機的に大動脈弁の手術を受けられ、心房細動を有していた方で、2016年12月までに退院後の観察ができた方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、身長・体重、合併症、既往歴、これまでの治療経過、各種検査の結果
術後内服薬や経過

* 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません

* この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。

* この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

心臓血管外科 研究責任者 小宮 達彦

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）